

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 施設野菜と水田農業が盛んな干拓地が広がる平地農業地域
- 高齢化や後継者不足の進行により水田作の出し手が増加し、水田作担い手の規模拡大が進行
米価の下落基調、国内需要の減少傾向の中、輸出を含めた新たな販路確保が必要

【支援内容・背景】

- 担い手の規模拡大に対応し、大手回転すしチェーンと連携した海外への輸出に向け、業務用多収性品種(やまだわら)の作付拡大を推進
- 助成対象者は地区内で主に水稻と麦を栽培する認定農業者
今後、更なる経営安定・所得向上を志向しているため、農地バンクを活用した農地集積を推進し、地区における大規模水田作経営の経営発展モデルとして育成・支援



助成対象者「K氏(個人)」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成7年 就農(父から経営移譲)
- 同年 経営改善計画の認定
- 令和3年～ 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業を活用し、香港、シンガポールに「やまだわら」の輸出を開始

《事業活用の背景》

○ 水田作経営のより一層の安定・発展を図るため、外食需要や輸出に対応する業務用に適した多収性品種「やまだわら」の作付・輸出を計画
水田作の規模拡大に向け、農作業の効率化に資する高性能機械を導入

【事業実施時の状況】
(R元年度)

○付加価値額 15百万円 (売上高 37百万円)

○経営面積 34.8ha

○栽培面積

・主食用米 15.6ha	・米粉用米 9.5ha
・やまだわら 1ha	・麦 32.9ha
・みかん 0.6ha	

○輸出用米 1t

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
- ウイングハロー 1台
- アッパーロータリー 1台
- 播種機 1台
- スタブルカルチ 1台

事業費 10,057 千円 (国費 4,570 千円)

トラクター

ウイングハロー

【現在の経営状況】
(R3年度)

○付加価値額 26百万円(169%) (売上高 57百万円(156%))

○経営面積 38.3ha (110%)

○栽培面積

- ・主食用米 11.3ha (「森のくまさん」、「にこまる」)
- ・米粉用米 10.7ha (「ミズホチカラ」)
- ・やまだわら 2.1ha (皆増)
- ・麦 36.9ha
- ・みかん 0.6ha

○輸出用米 4.40t (皆増) (輸出契約数量)

事業の効果

《対象者》 水田作の規模拡大が見込まれる中、作業効率の向上が図られたことにより外食・輸出需要がある「やまだわら」を導入することが可能となり、売上高の増加が実現

《地区》 輸出に向けた先進的な取組が実践され、地区における主食用米需要を勘案した戦略的な水田農業経営発展モデルとして確立